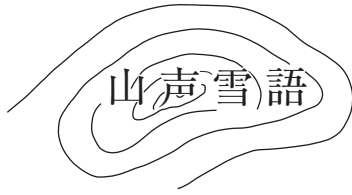


京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2721回 夏山大会 南アル プス 聖岳・光岳	7月31日(金) ～8月4日(火) 集合 参加者で調整	山下 幸宏	31日京都(名神・中央道)飯田 IC―便ヶ島(泊) 1日易老渡…易老岳…光岳(小 屋泊) 2日光小屋…上河内岳…聖小屋 (泊) 3日聖小屋…聖岳往復…便ヶ島 ―遠山郷(泊) 4日帰洛
備考 希望者は担当者まで連絡ください。			
7月の集会 日時 7月8日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)		7月の企画運営委員会 日時 7月22日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)	
8月の集会 日時 8月7日(金) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)		8月の企画運営委員会 日時 8月19日(水) 18:30～ 場所 holly's café (ホリーズカフェ)	



聖職の碑

吉田 武

最近、本を読む機会が多く、今年になって桜木紫乃さんの「ホテルローヤル」・大谷恭子さんの「共生社会へのリーガルベース」・そして新田次郎さんの「聖職の碑」と時間があるので読んでみた。

特に読んでいるうちに引き込まれたのが、大谷恭子さんの「共生社会へのリーガルベース」男女が共に生きていく為の「法的な基盤」として、病気の人（特に感染症）と共に・差別のない社会・人種問題・部落問題・我が国の死刑について・被災された人と弱者に対する援護と生活水準・原子力の崩れた安全神話・基地のない平和との共生等各項に書かれていたが、読むごとに引き込まれていった。弁護士をされているので特に「死刑執行」に関しては大いに疑問があるようで、例えばある朝突然死刑確定者の居房に「お迎え」が来ることによって始まる。法務大臣の死刑執行指揮書は5日前には刑事施設には届いているが、しかし死刑確定者にはその朝まで知らされない。何故かわからないが、このことには僕は問題があると思う。

そして木曾駒ヶ岳の遭難を題材にした新田次郎さんの「聖職の碑」を読んで感動しました。木曾駒ヶ岳は何度か登っていますが、僕は伊那市西箕輪方面から登ったことがありません。今のルートからいうと、以前山岳部が「木曾駒ヶ岳集中登山」をした時に使ったルートの小黒川溪谷から桂木場を通り大樽小屋・胸突八丁から胸突ノ頭、西駒山荘を通り将棋頭山、濃ヶ池から駒飼の池、宝剣山荘を通り木曾駒ヶ岳に登るルートのようなのである。遭難をしたのは伊那小屋とあるが、今ある宝剣山荘あたりと思う。「心身の鍛練」の為に駒ヶ岳登山を行うと言われた赤羽校長、またこの時代には長野県のほとんどの学校で若い教師が「白樺」と言う「文芸雑誌」を読んでいたようで、回し読みをして自ら感動させられるものがあればそれを教育に取り込もうとしていたようである。今の宝剣山荘の手前あたりにこの時代の「伊那小屋」があったが、ほとんど壊されて雨宿りもままならない時に、中箕輪尋常高等小学校の生徒が泊まりに来た。雨風の中であるが、小屋の基礎の石垣は残っているので何とか囲いをして小屋らしきものを作った。しかし風雨が強くなると雨漏れがきつく体温が奪われるので、生徒がばらばらに下山したために遭難をしたのである。今の時代でも山に行くときは、天気予報や道路状態を調べて行動をするが、この時代は情報が希薄なので観天望気で登山をしていたようである。

夏山の時期であるが、僕はもう3,000mの山は登れないので、低山山行で、夏山の気分をカメラを持って十分に味わおうと思っている。

【第2715回例会報告】

名誉部員岡田茂久氏喜寿記念登山

備後・安芸の国 岡田山 一等三角点 638.8m

高谷山 二等三角点 490.8m

七 塚 三等三角点 248.6m を巡る山旅

堀 田 剛

この例会は、大槻さんが昭和35年に入局以来、仕事と山の先輩である岡田茂久氏の喜寿のお祝いに、部員に呼びかけられ発意された記念登山例会である。

岡田氏は昭和32年に京都市交通局に奉職され、京交山岳部には昭和33年1月に入部された。一時期を除き、交通局奉職中の大半を京交山岳部の中核部員としてご活躍され、その間、昭和58年4月から平成7年3月まで12年間は山岳部長として、また、京都府山岳連盟でも京都一周トレイルの委員長もされ、京都一周トレイルの整備に多大な貢献をされるとともに、府下一斉清掃などにも毎年ご尽力されている。

4月25日（土）の7時に地下鉄東西線天神川駅前ロータリーに集合。大槻さん、大倉さんの車二台に5名ずつで、10名の参加。予定通りに出発する。亀岡経由で兵庫県滝野社ICから中国自動車道へ。途中の国道は車も少なく渋滞知らずの快走であった。中国道も車が少なく、予定より早い昼前に広島県三次ICに到着し、まず岡田山一等三角点に向かう。岡田山山頂のNTT鉄塔横の駐車場まで車で登れる。その横の眺望が開けた場所に舞台のような小屋があり「霧望の家」〈写真1〉と書いた額がかかっている。ちょうどお昼なので昼食を摂る。黄砂のせいか霞んでいるが、天気曇りで暑くなく雨に降られず良かった。そこから少し離れた一等三角点〈写真2〉へ移動し、岡田氏の喜寿お祝いセレモニーをする。万歳三唱の後、大槻さんが用意されてきた記念品が贈呈〈写真3〉され、全員で記念撮影〈写真4,5〉に。撮影のため、大きな紙に黒に加え赤の墨で記念の書を用意されており、記念撮影に花が添えられた。この岡田山のNTT鉄塔は高く、遠くからでも目だっている。地域の象徴的な山のような気がした。

次に「みよし風土記の丘」に。広島県の三次地方は西日本でも有数の古墳密集地帯として知られ、広島県内の古墳の約3分の1（約4000基）が集中しており、この「みよし風土記の丘」は、三次地方の古墳群の特徴を典型的に示す古墳群（史跡 浄楽寺・セツ塚古墳群）を中心に、約30haの丘陵を



〈写真1〉霧望の家



〈写真2〉岡田山 一等三角点



〈写真3〉記念品を試着

古墳公園として広島県が整備したもの。ここの七ツ塚古墳の1つ（15号古墳）に三等三角点〈写真6〉があった。公園として綺麗に整備されており、県営と市営の二つの大きな駐車場がある。ここにある「みよし風土記の丘ミュージアム（広島県立歴史民俗資料館）」に立ち寄る。入場料は200円だが、65歳以上は県外者でも無料と太っ腹。種々の土器、特に大きな馬形埴輪が立派でマスコットキャラ「ハニワだもん」のモデルとなっていた。

資料館見学を終え今日の宿泊先、君田温泉森の泉のコテージへと向かう。途中の土砂採取場へ入る仮設橋の近くの車道端の分離帯の中に四等三角点〈写真7〉があった。埋もれているのを大倉さんが掘り起こしてその存在をはっきりさせた。コテージに着いて、早速夕食の準備。岡本さんに準備してもらった鯛やマグロの刺身〈写真8〉を中心のごちそう。鯛のうろこ取りをされていて、背びれは固くとかっていて、手に刺さることを私は初めて知った。これだけの食材の準備をしていただき感謝。吉田さんが鯛の兜煮を甘辛く美味しく作ってもらったのが好評であった。岡田氏の喜寿を祝い乾杯。全員の元気な胃袋に、多くの食料とお酒はすっかり無くなった。

あくる朝は岡本さん特性のきつねうどん。手早くできて美味しいのには頭が下がる。

早めにコテージを出発。君田温泉森の泉でお土産購入。市が補助金を出してもらえる1000円分のお買い物券が使えた。温泉に入ろうとしたが、時間が早く入れず諦め、三次市本通りの散策。かつては広島市内と出雲大社への宿場町として栄えたようだが、今はその名残が見られるのみの感じ。酒造会社があり、勝手にその倉庫に入る。薄暗い中に立派な雛人形があった。少し不気味だが、全国にはいにしえの宝物が眠っているのではと感じた。

ここから今回三山目の高谷山に向かう。展望所手前の駐車場に到着。展望所からの眺めはやはり黄砂のせいか霞んでいる。この展望所は「霧の海展望所」と言われている。三次盆地には霧の海がかかるとのこと。9月から早春の3月まで早朝から数時間見られるとのこと。望遠レンズで写真を撮っている方がいる。芸備線の気動車を撮っているとのこと。高谷山の二等三角点〈写真9〉は展望台の反対側を少し登った先の電波塔のフェンスぎわにあり、測量点として見通しのきかないこの位置で良いのかと思わせた。電波塔は恐らく後から建ったのだろう。

高谷山から下山し帰路につく。まだ時間があり、岡田氏の希望もあり東城ICで降りて「帝釈峡」に向かう。下帝釈峡に向かうが神龍湖湖畔のキャンプ場があるくらいで、昼食を食べる店も見つからないことから、引き換えし東城IC付近の道の駅「遊 YOU サロン東城」に立ち寄り道を確認して上帝釈峡に向かう。時期外れなのか人は少なく、食堂も1件しか開いていなかった。そこで昼食を摂って、鍾乳洞「白雲洞」〈写真10〉に入る。ヒヤッとしていて夏は涼しくて心地よいと感じる。折り返し場所の向こうにも小さな穴があり柵がしてあるが、通風があると書いてある。まだまだ帝釈峡散策道はあるが、ここまでで引き返し帰路に着く。

東城ICから中国吉川JCTを経て舞鶴若狭自動車道へ。丹波篠山から途中の^{けぶりかわ}烟河に立ち寄った。ここまで来ると京都を感じる。行も帰りも順調な車旅であった。諸先輩方の元気が記念例会を成就さ



〈写真4〉記念撮影（全員）



〈写真5〉記念撮影（岡田氏単独）



〈写真6〉七ツ塚 三等三角点

せ、天気にも恵まれ1等三角点～四等三角点まで巡りあえたことは喜寿のお祝いの彩であった。

【コースタイム】

2015年4月25日（土）

7：05太秦天神川駅前広場→7：20沓掛IC→7：30亀岡IC→9：00滝野社IC→9：10加西SA 9：15→10：35大佐SA 11：00→11：50三次IC→12：20駐車場 昼食12：50→12：55岡田山山頂 セレモニー13：15→13：20駐車場 大槻さんがお茶を点てられる14：00→14：05破れ堂 14：08→14：20みよし風土記の丘→14：40七塚→14：50ミュージアム15：05→15：45四等三角点（三次市君田町藤原399-3付近）15：53→15：55君田温泉森の泉 受付16：05→16：10コテージに到着

2015年4月26日（日）

8：00コテージを出発→君田温泉森の泉 受付、おみやげ購入8：30→8：50三次本通の端部を散策9：10→9：25駐車場→展望台→9：50高谷山山頂10：00→10：10駐車場10：15→10：40三次IC→11：10東城IC→11：30帝釈峡 国民休暇村Uターン→11：40道の駅 遊YOU さろん 東城11：50→12：05帝釈峡第一駐車場12：10→12：15帝釈峡第二駐車場→12：25食堂12：45→12：50白雲洞13：00→13：10第二駐車場→13：30東城IC→14：20二宮PA→14：35勝央SA 15：10→16：25丹波篠山口IC→17：15京都烟河（けぶりかわ）17：30→17：50亀岡IC→18：00沓掛IC→18：15太秦天神川駅前広場

【参加者】 岡田茂久，大槻雅弘，大倉寛治郎，岡本義弘，方山宗子，森本清一，吉田武，鷺見壽末子，清水康裕，堀田剛



〈写真7〉四等三角点



〈写真8〉岡本シェフのご馳走



〈写真9〉高谷山 二等三角点



〈写真10〉白雲洞

【第2717回例会報告】

「尾瀬ヶ原と尾瀬沼の旅」

吉 田 武

♪♪ 夏が来れば思い出すはるかな尾瀬青い空 ♪♪

尾瀬は春夏秋冬と何回か僕は訪れた。信頼おける岡本君夫妻・ゴルフ仲間の澤井君の2家族を引き込み6名で岡本君のワンボックスカーに乗る。

1日目

諏訪ICからR299麦草峠を越え佐久穂町から佐久市佐久ICから長野道に乗る、藤岡JCTから関越道を走り、沼田ICで降りてR120片品村鎌田からR401を走り追貝の「吹割滝」を見学、今の時期雪解け水が多く少し豪快すぎる、戸倉温泉の定宿「玉城屋」に入る。

2日目

8時前に玉城屋さんの隣の戸倉バス停から鳩待峠行バスに乗る。鳩待峠で集合写真を写してからアヤマ平コースに行く。今年は雪が多く度々ルートを探査。登山靴の人、運動靴の人、まちまち。雪道はやはり運動靴は歩きにくそう……横田代からの景色は最高。燧ヶ岳・会津駒・平ヶ岳・日光白根山・至仏山・越後山脈の巻機山が見渡せる。日本一の景色。僕はこの景色を最高と思っているので、尾瀬に来たときはこのコース「アヤマ平コース」を登る。残雪の中で思っていたより時間がかかったが、富士見峠で昼食、当初池に写る燧ヶ岳をおかずに食べようと思っていたが、池が凍って燧ヶ岳が映らない。しかし天気も良く最高のロケーション。此处からは長沢コース。雪が多いので滑りそうだったが、竜宮小屋まで下りる。この時期名物の水芭蕉が満開。小休止して見晴十字路にある「原の小屋」に入る。

3日目

6時に朝食をして早々に小屋を出る。尾瀬沼の沼尻まで標高差250m位ではあるが、雪が所々にあって歩きにくい。沼尻で小休止をして、尾瀬沼を半周。南側は雪が多くて時間が相当かかるので、沼の北側をまわる。こちらのコースはロケーションもよく、大江湿原に出られるので、多くの人が選ぶ。1時間40分程で三平峠下に着く。大休止。三平峠まで20分雪の中の歩行、三平峠からは下りで1時間少しで一の瀬休憩所に着いた。ソフトクリームがあると思ったが、なかった。残念。ここから1時間ほど砂利道のコース、僕が来るたびに嫌な道である。大清水からはバスで玉城屋まで乗り、早々に戸倉温泉を後にして宝川温泉に向かった。戸倉から鳩待峠手前の津奈木橋で左折して紅葉写真のメッカを通り、坤六峠から湯の小屋温泉、そして、利根川源流の奈良俣ダム・須田貝ダムを通り宝川温泉に入った。日本一の温泉である。

【登山コースタイム】

1日目 戸倉(バス)7:55発～鳩待峠8:30着・8:40発～横田代着10:40・10:45発～富士見平12:30着 昼食 13:00発～見原氏十字路(原の小屋)16:30着 泊まり

2日目 原の小屋6:35発～白砂乗越8:30着～沼尻9:00小休止 9:30発～長蔵小屋10:40着・10:50発～三平峠下11:15(昼食)12:00発～三平峠12:30～一の瀬休憩所13:40着 13:45発～大清水14:50着～バス 15:00発～玉城屋15:30着

【参加者】 岡本義弘夫妻・吉田夫妻・澤井廣和夫妻 6名



鳩待峠にて



アヤメ平



アヤメ平と燧ヶ岳



アヤメ平の池塘



尾瀬ヶ原の水芭蕉群落



水芭蕉



リュウキンカ



エンレイソウ



尾瀬沼より燧ヶ岳



シラネアオイ



宝川温泉にて



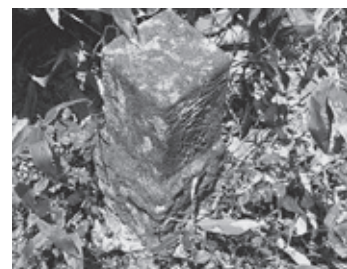
沼尻より尾瀬沼



吹割の滝



アヤメ平



中原山三角点

「府民新緑観察会 松尾神社～桂坂」 山岳連盟自然保護委員会主催

岡田 茂久

2015年5月17日（日） 集合時間の9：00には十分に余裕のある時間だったが、集合場所の松尾大社鳥居前に着くと、既に自然保護委員を含め参加申込み者25名全員が集合していたのには恐縮する。

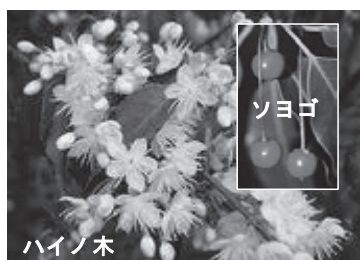
前回の植物観察会でも、雨の予報にも関わらず大勢が集合時間には集まっており、止むを得ず雨の中をコース変更して実施している。いつもながら観察会の参加者には熱心な人が多い。



まずは松尾神社にお参りし、京都では希少植物の「かぎかずら」を観察しようとしたが、松尾神社では他の植木類を痛めると言う事で刈り取られ、満足に観察することが出来ず、山吹の花も時期は少し遅かったようで残念であった。

それでも、「そんな貴重な植物とは知らなかった。生えている幼生は大事にします」と保護を約束頂いた月読神社では、するどい鉤を直に手で触れて観察できたのは幸いだった。

苔寺から松尾谷林道に入り、苔寺川の蛇行跡を観察。新しく再建された「山の神」の碑に参拝。トレイルコース西の終点、標識51から松尾学区が制定した西山散策路へ苔寺川を渡渉する。前日の雨で増水を心配していた苔寺川も全員無事に渡渉。西山散策路と唐櫃越の道との合流点「丁塚」に登る。



NPO「京都土の塾」の竹林整備拠点に立ち寄り、整備状況見学と岳連自然保護指導員から周辺の植生状況説明を受ける。桂坂野鳥遊園散策路「ハイノ坂」コースと、唐櫃越道合流点の東ベンチで小憩。好展望の桂坂野鳥遊園散策路「ソヨゴ坂」コースと、唐櫃越道合流点の中ベンチでは、目の前に広がる京都南部の大パノラマを楽しむ。唐櫃越道から桂坂野鳥遊園「リョウブ坂」散策路分岐点の西ベンチでやや遅い昼食とする。昼食後、急坂の「リョウブ坂」を降り、桂坂野鳥遊園に13：40に下山。



桂坂野鳥遊園で一旦解散後、希望者のみ隣接する「大江中学校」の駐車場にある「電子基準点」京都西京176.7mを見学。GPS電波を常時受信し、地殻変動感知精度は10mm以内で、リアルタイムでデータを観測センターに送信しているという。全国で1200基ほどが設置されている。校内立ち入り許可を願った女性教師は、「そんなものが設置してあるとは知らなかった。早速、生徒に話します」と喜んでおられた。



例会報告

例会 No	目的地	天候	月 日	担当者	参加者	記 事
2715	岡田山 高谷山 七塚	晴	4月25日(土) ～26日(日)	大槻 雅弘	岡田茂久, 岡本義弘, 吉田 武, 清水康裕, 堀田 剛, 鷺見壽末子, 森本誠一, 方山宗子, 大倉寛治郎	別稿参照
2717	尾瀬ヶ原と 尾瀬沼の旅	晴	5月31日(日)) 6月3日(水)	吉田 武	吉田 武 F1 岡本義弘 F1 他2名	別稿詳報
2718	新緑観察会	曇	5月17日(日)	岡田 茂久 方山 宗子		別稿詳報
2719	府下一斉 清掃登山	晴	6月7日(日)	岡田 茂久 方山 宗子	清水康裕, 鷺見壽末子, 坂田利春, 渡辺智生 井戸澄夫	次号詳報

雑 報

△△△ 9月（河村清名誉部員卒寿記念）集会のお知らせ

河村清名誉部員が卒寿になられたお祝いのお祝いの記念集会を次のとおり開催しますので、部員多数のご出席をよろしくお願いします。

9月9日（水）18：30～

「かごの屋」四条烏丸下ル 地下鉄四条駅6番出入口前 TEL 353-8936

参加費 3,000円

参加希望者は担当者 清水（携帯 ）まで連絡してください。

△△△ 6月の集会

日 時 6月10日（水）18：30～

場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）

出席者 井戸、大倉、岡田茂、岡本勇、岡本義、方山、
河村、森本、山下、吉田、渡辺、和田、清水 13名

内 容 例会結果、例会予告、個人山行、岳連関係報告ほか

△△△ 5月の企画運営委員会

日 時 5月22日（金）18：30～

場 所 holly's café（ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル）

出席者 井戸、岡本義、堀田、吉田、清水

内 容 例会予告、岳連関係報告、総会打合せ ほか

△△△ 他山岳会の会報（受贈分）

6月号 京都山岳、趣味の登山、青嶺、比良山岳、木雞、わっば

6・7月号 山友

△△△ 部報発送担当者からのお知らせ

職場の異動に伴い、部報の発送先、発送方法に変更がある場合は、必ず部報発送担当者（松田：高速車両課 ）まで連絡してください。

△△△ 平成27年度部費徴収のお知らせ

平成27年度の部費を徴収します。年額6,000円（部報郵送を希望の方は7,000円）です。企画委員会会計担当（岡田浩）までお届け下さい。

△△△ 平成27年度部費受領について

平成27年6月16日現在、先月号までに報告しました方々に加え、次の方から既に平成27年度部費を受領していますので報告します。

（敬称略）岡本勇、清水康裕

部 員 名 簿

平成27年7月1日現在

○ B

坂井久光 鷺見壽末子
河村清 石川かず榮
津田實 渡辺智生
岡田茂久 古市昌造
大槻雅弘 木原滋
大倉寛治郎 澤井佳三
吉田武 和田良一
井戸澄夫 小森浩
森本清一 岡本勇
坂田利春 方山宗子

交通局

岡本孝 岡田浩一
井上一夫 井上恭彦
山岡昭弘
今道力
足立公弘
松田誠二
室谷和彦
大野滋久
山下幸宏
松浦健一

市役所

山口雅直
堀田剛
清水康裕

想いをカタチにするお手伝い—

京都 洛北の自費出版会社

北斗書房

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町38-2
Tel: 075-791-6125 Fax: 075-791-7290
URL <http://www.hokutoshobo.jp>

《 新入部員募集中 》

平成 27 年 7 月 1 日

京都市右京区太秦下刑部町 12

京 都 市 交 通 局 内

京 交 山 岳 部

<http://kkmc.web6.jp/>